2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸美容学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会はりきゅう学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時間	通年	教室名	講義室 他
担 当 教 員	北田 覚	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
学会やセミナー等で自身に関わるであろう業界に関する情報や新たな知見を自ら手に入れる。 獲得した知識や技術を将来にどう活かしていくかを考えかつ述べられるように学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
出席およびレポート提出にて評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
各学会やセミナーの資料						
《授業外における学習方法》						
資料を読み返す 自身の将来像の具体化						
《履修に当たっての留意点》						
みなさんが関わる業界は日々変化していきます。常に新しい情報に触れ、自分をどんどん変化させていってください。 また、最終学年ですので、自身の将来像をしっかりと確立しましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	2年次までの学習を基に、学内の学びを学外の学びとつなげる 意義を述べられる。	配布資料	自分の将来像を述べら れるように考えておく。	
		各コマに おける 授業予定	学内での学びを学会やセミナーを通じての学びをつなげる意義 について(特に、臨床医学および臨床実技から)			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	就職フェアで得られた内容および活用の仕方について述べられ る	配布資料	自分の将来像を述べら れるように考えておく。 これまで学んだ内容を将 来どう活用するかを述べ られるように考えておく	
		各コマに おける 授業予定	自ら主体的に学校行事(就職フェア)で学習する			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	就職フェアで得られた内容および活用の仕方について述べられ る	配布資料	自分の将来像を述べら れるように考えておく。 これまで学んだ内容を将 来どう活用するかを述べ られるように考えておく	
		各コマに おける 授業予定	自ら主体的に学校行事(就職フェア)で学習する			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	セミナーで得られた内容および活用の仕方について述べられる	配布資料	自分の将来像を述べら れるように考えておく。 これまで学んだ内容を将 来どう活用するかを述べ られるように考えておく	
		各コマに おける 授業予定	自ら主体的にセミナーで学習する			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1回～4回の学習内容についてレポートを作成できる	配布資料	自分の将来像を述べら れるように考えておく。 これまで学んだ内容を将 来どう活用するかを述べ られるように考えておく	
		各コマに おける 授業予定	これまでの学習内容のまとめ①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	セミナーで得られた内容および活用の仕方について述べられる	配布資料	自分の将来像を述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	自ら主体的にセミナーで学習する		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	セミナーで得られた内容および活用の仕方について述べられる	配布資料	自分の将来像を述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	自ら主体的にセミナーで学習する		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	学術大会で得られた内容および活用の仕方について述べられる	配布資料	自分の将来像を述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	自ら主体的に学術大会で学習する		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	学術大会で得られた内容および活用の仕方について述べられる	配布資料	自分の将来像を明確に述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	自ら主体的に学術大会で学習する		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	6回～9回の学習内容についてレポートを作成できる	配布資料	自分の将来像を明確に述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	これまでの学習内容のまとめ②		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	学会で得られた内容および活用の仕方について述べられる	配布資料	自分の将来像を明確に述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	自ら主体的に学会で学習する		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	学会で得られた内容および活用の仕方について述べられる	配布資料	自分の将来像を明確に述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	自ら主体的に学会で学習する		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	セミナーで得られた内容および活用の仕方について述べられる	配布資料	自分の将来像を明確に述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	自ら主体的にセミナーで学習する		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	セミナーで得られた内容および活用の仕方について述べられる	配布資料	自分の将来像を明確に述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	自ら主体的にセミナーで学習する		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	11回～14回の学習内容についてレポートを作成できる これまでの全ての学習内容について自身の所見を述べられる	配布資料	自分の将来像を明確に述べられるように考えておく。 これまで学んだ内容を将来どう活用するかを述べられるように考えておく
		各コマにおける 授業予定	これまでの学習内容のまとめ③		